

2003年(第11次)漁業センサス結果概要

漁業センサスは、水産統計の最も基本的な調査の一つとして、農林水産省において昭和24年3月に第1次センサスを実施して以来、5年ごとに実施しているものであり、今回が第11次漁業センサスとなる。

1 調査の目的

2003年漁業センサスは、漁業の生産構造を明らかにするとともに、漁村、流通・加工業等の漁業の背景の実態を総合的に把握し、漁業構造の改善等水産行政諸施策の基礎資料を整備することを目的として実施した。

2 調査の期日

平成15年11月1日現在

3 調査の体系

調査の種類	調査の対象	調査の系統	調査期日	調査方法
海面 漁業 調査	漁業経営体調査	農林水産省 都道府県 市区町村 調査員	平成15年 11月1日 現在	調査員が調査 客体からの面 接聞き取り調 査(一部項目 (会社、官公 庁、学校、試 験場につい ては全部)自計 申告)。
	漁業従事者世帯調査			

4 結果の公表

この数値は概数値であり、後日農林水産省から公表される数値が確定値となる。

*注1

◎ 調査対象市町(6市15町) = 「沿海市区町村」

・瀬戸内海区(3市 5町)

和歌山市、海南市、有田市、下津町、湯浅町、広川町、由良町、日高町

・太平洋南区(3市10町)

御坊市、田辺市、新宮市、美浜町、印南町、南部町、白浜町、日置川町

すさみ町、串本町、古座町、那智勝浦町、太地町

5 漁業地区图

